

2022 年度 第 7 回 夏のつどい部会 議事録

2022 年 9 月 25 日 (日) 10:00

場 所 : 青少年センター 研修室

司 会 : 谷口 聖 副部長

参加者 : 25 名/48 名

配布物: 第 7 回レジュメ 第 6 回議事録 開催報告書

提出物: 参加費 (未提出分) 余った領収書 (未定出分) 非接触体温計

持ち帰り: 電話代 (学区単位)

1・あいさつ

中川会長より

皆さん ONH にむけての準備ありがとうございました。今年度の反省を踏まえ来年度にむけて有意義な話し合いができればいいと思います。

2・配布物 (上記)

3・本日の提出物 (上記)

4・本日の議題及び報告

① 開催報告 (梅林部長)

- 部会・下見への参加人数を見ると、多くの人が協力してくれたことを改めて実感し、中止になったことが口惜しい。
- 今まではこちらから一方通行であったが、来年度は双方向のやりとりで共に作りあげていきたい。
- 会計処理はまだ途中。「ゆめ基金」の処理が済んでいないので報告書は「予定」の収支表。
開催報告補足 (中川会長)
- 色々な方面から対策を練ってきたが、BA5 対策宣言を受けてスタッフの人数を確保出来なくなったことが大きい。来年度はそこを念頭において計画をしてほしい。

② 各学区へ電話代のお支払い (山本)

- 中止連絡の際どんなお問い合わせがあったか?
☆中止の返金はないとの事ですが、それがどこかに書いてあるのか?
⇒参加同意書にあるがもっと分かりやすく表記する
⇒電話連絡の前にショートメールで返金がないことをお知らせし対応した。
- 相談員準備金では電話代は支払えないが「ゆめ基金」で対応可能 (1 万円) なのでそこから支払う。
- 参加者数 (相談員のお子さん・兄弟姉妹を除く) × 30 円 = 電話代 ※学区ごとに支払い

③ 今年度の振り返り (谷口副部長)

- 資料・データの周知・管理方法について
 - ・グループ LINE でするのはいいが、埋もれてしまう。期限切れがある
 - ・個人で「Keep」に入れるなど対策している人もいる
 - ・ノートやアルバムにして保存するのはどうか。
 - ・Google ドライブに保存してみんながそこへ必要な時にアクセスできるようにする?
⇒ドライブのアドレスを LINE に流す
- 情報伝達の行き違い (中止連絡)
 - ・「参加者への事前連絡をストップ」と同時に「同行協力者探しもストップ」と伝えて欲しかった。
 - ・行政・相談員本部・夏つど本部など立場が違えば考え方も違う。その各方面へ進め方や方向性の摺り合わせに時間がかかるが、タイムリミットがあるため間に合わせるために無理をするとその「歪み (ひずみ)」がでてくる⇒混乱を避けるため全員に開示できない情報もあるが必要な情報の確実な伝達

●同行人数が足りない問題

- ・同行協力者を集めるのが負担に感じた。(相談員 OB も高齢化で限界がある)
- ・現存の同行人数によって参加者数を予め決める？
(学区によって受け入れ可能人数が違う。申込者を断るケースもある)
- ・同行の能力を上げ同行 1 人あたりの受け入れ参加者数を多くする(1/5⇒1/8 など)
- ・同行が多い学区が少ない学区の同行となる(他学区で歩くのは楽しいのか？ 望まない人もいる)

●参加申込み締切り後の申込み

- ・締切り後の申込みを受け付けない。としたが実際のケースを目の当たりにすると判断が難しい。

④ 来年度にむけて(梅林部長)

- ONH をするのであれば下見の回数は 3 回で考えている。(日中下見は無し)
- 来年度は ONH をするのか、別のイベントをするのか意見を聞きたい
- 今のところ次回の部会は 2 月だが、その前に部会を設定する可能生ある。(準備のため)
- 青少年センターが立て替えられる 2023(令和 5)年 9 月以降～それを踏まえる必要もある

5, 次回提出物

なし

6, 連絡確認事項

次回：2023 年 2 月 12 日(日) 青少年センター・研修室 10:00～
2023 年 3 月 12 日(日) 青少年センター・研修室 10:00～

※直近の部会予定が 2 月なので、その前に部会を開催する可能生もあり。